

# 息抜きの散歩道 Vol.20

編集・発行／日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1  
発行日：2023年10月15日 ホームページ <https://library.nit.ac.jp>

## 今年もやります。学内選書会「特設書林」

2022年度に初開催した、学内選書会「特設書林」は、皆さまのご協力いただき、多くの方にご参加いただきました。そして今年も、会場をLCセンターから5号館に移して開催します。

**開催日時：2023年10月20日(金) 10時30分～17時 会場：5号館2階 ラーニングセンター**

読書する猫ちゃんが目印です。

書店にご協力いただき、約400冊の本を揃えました。

LCセンターにあったらよいな、という本を、選んでいただくイベントです。本選びにかかる時間は5分から10分程度。

選書後のアンケートにお答えいただいた方には、プレゼントを差し上げます。

皆さんの参加をお待ちしています！

（開催報告は「息抜きの散歩道21号」に掲載します）



日時：2023年10月20日（金）10時半～17時  
会場：5号館 2階ラーニングセンター  
本屋から新刊本 約400冊を取り寄せ 1日限りの書店が開店します。  
◎ LCセンターで購入する本を400冊の中から選んでください。  
◎ 学生の皆さん、教職員の皆さん、誰でも参加できます。  
◎ 簡単なアンケートにお答えいただいた方には豪華なお土産があります。  
◎ お好きな時間にお越しください。選書時間は5分～10分程度です。  
皆さまのご参加をお待ちしております！！

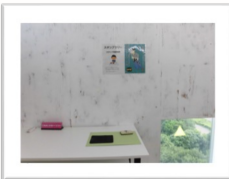
LCセンターに入れて欲しいブルーレイ・DVDの投票は、9月から開始しています。上位3着までが映像学習コーナーに配架されます。LCセンター正面入口にて、投票受付中です。

タイトル
CHOCOLATE PLANET LIVE TOUR 2022「CHOCOHOLIC」
「すずめの戸締まり」
ブラックパンサー ワカンダ・フォーエバー
キングダム2 遙かなる大地へ
E.T.
MEN 同じ顔の男たち
東京リベンジャーズ
アバター：ウェイ・オブ・ウォーター
A d o / カムパネルラ
ハリ・ポッター2 0周年記念：リターン・トゥ・hogwarts

## スタンプラリー開催報告 期間：2023年7月4日～7月14日

LCセンターのどこかに置かれたスタンプを探し出し、全部のスタンプを集めるとプレゼントがもらえる「スタンプラリー」。企画は、LCセンターの学生ボランティア「ライブラリーサポーター」。2021年の第1回から始まり、今年は3回目となります。LCセンター内を巡り、見事すべてのスタンプを集めた参加者は、簡単なアンケートに回答後、クジ引きで様々なプレゼントを引き当てていました。プレゼントにはメインダイニングの日替わりランチ食券もご用意しました。

参加延べ人数は110名と大盛況で、アンケートでは、「様々な階を探索するのが楽しかった」「スタンプが3Dプリンタで印刷されていて可愛らしかったです」などの声があり、好評でした。



## 貸出ランキング

集計期間：2023年4月1日～2023年9月30日

- 貸出9回  
『よくわかるPHPの教科書：PHP7対応版』たにぐちまこと / 著 マイナビ出版 / 刊
- 貸出8回  
『経営情報システム 改訂第3版』島田達巳, 高原康彦 / 著 日科技連出版社 / 刊
- 貸出7回  
『Pythonチュートリアル 第3版』Guido van Rossum 著 オライリー・ジャパン / 刊  
『基本の78パターンで英会話フレーズ800：パターンがわかればどンドン話せる!』伊藤太, Gary Scott Fine / 著 西東社 / 刊

# 250文字

先生のオススメ本から、  
新たな扉、開いてみませんか。

## ブックレビュー

### 『冒険する建築』 伊東 豊雄 /著 左右社 /刊

発行年 2017.6

502.8
I 89

配架場所：5階

自作を語る四六判の小さな本ですが、一般の建築作品集とは異なります。著者の建築を作って行く思考プロセスが平易な言葉と写真やスケッチで綴られた建築絵本で、本自体が作品だと思わせてくれる一冊です。著者は、序文で「一つの建築が紆余曲折を経て次の建築を生み、その建築がまた次の建築のアイデアを生む。こうしたプロセスを繰り返しながら、いつももっと素晴らしい建築ができるはずだと考えているのです。新しい建築を作ることはいつもワクワクする冒険なのです。」とっています。近作の台湾オペラハウスでは、「SOUND CAVE」「気孔」「つながる」「体内回遊」「鼓動」「息づく」のキーワードで語りかけます。これはいったい何か。さあ、本書を手にとってみてはいかがでしょうか。きっと「建築コンセプトとは何か」「発想の原点は何か」という疑問が、解けた気になるかも知れません。

黒津 高行 (LCセンター)

### 『宇宙ビジネス最前線』 KPMGコンサルティング /監修 日経BP /刊

発行年 2023.2

538.9
N 71

配架場所：6階

2023年9月7日、JAXAにより小型月着陸実証機「SLIM」が打ち上げられました。日本の宇宙開発が次のステージへ移行しようとしています。ここ数年、「宇宙ビジネス」、「宇宙法」、「宇宙保険」、「宇宙港」など、宇宙関連の聞き慣れない用語に触れる機会が増えてきました。時代の流れに合わせて、ものづくりも宇宙を意識したものづくりへ移行する過渡期を迎えようとしているのかも知れません。宇宙開発の今を理解した上で個人の考えをもち、人類が進んで行こうとしている新たな時代に備えておく必要がありそうです。

増本 憲泰 (機械工学科)

### 『虚数の情緒 中学生からの全方位独学法』 吉田 武 /著 東海大学出版 /刊

発行年 2000.2

410
Y 86

配架場所

映像学習コーナー

この本は重い、また、枕としても十二分に使える厚さである。その内容は自然数、整数、有理数、無理数など数学の基本から虚数に話を進め、物理への適用までの広い範囲の内容を詳しく、かつ、易しく解説している。複素関数論は含んでいない。正に中学生から大学1年生までの範囲の数学を、歴史も含めて丁寧に解説している名著である。また、ルビが振られているので、数学用語を含めた日常用語の読み方の練習にもなる。数学の素養のある人は1か月くらい、苦手な人は半年くらいかけて読み進める価値のある1冊である。学生や社会人の高水準の教養書として推薦する。

青柳 稔 (電気電子通信工学科)

### 『2084年報告書 地球温暖化の口述記録』 ジェームズ・ローレンス・パウエル 小林政子 /著 国書刊行会 /刊

発行年 2021.10

933.7
P 87

配架場所：8階

今年は気候変動を実感した夏になりました。この本は、我々が今の日常を続けるならば、2084年に世界はどうなっているかを科学的に克明に記述した「2084年発行の手記」となります。2084年には世界の主要な都市は崩壊または消滅しています。ティッピングポイントを越えたと思わせる今年の夏を経験すると、このフィクションが2084年にはノンフィクションになっていると思わざるを得ません。この本には、日本のことが2箇所だけ書いてあります。今の日本(人)を見ると実在の射た記述となっています。2084年の日本はどうなっているか…読んでみてください。

伴 雅人 (応用化学科)

548.3

Ma 88

配架場所：7階

ロボットを始めとする人工物を智能化すると、エージェントという行為の代行者としての側面が出てくる。人の役に立つことを目的とするサービスロボットは、実世界で動くAIの実体であり、エージェントの一つと言える。人の役に立つモノとしてエージェントがあるとすると、人との間に様々なやりとり(相互作用・インタラクション)が生じてくる。本書は、そのやりとりが相互理解を深めたり、相互不信を招いたりすることを指摘し、実体を持った知能であるロボットが、人にとって都合がいい存在ではないかもしれないと考えさせられる内容だった。

滝田 謙介 (ロボティクス学科)

007.13

W 84

配架場所：3階

「いまさらAIの入門書を書く？」同僚からの質問に、英国のオックスフォード大学の教授である本書の著者は、「失敗したアイデアを通してAIを物語ろうとしているんだ。」と冗談半分で返事した。本書の内容は大変学術的な意義を持つ一方、退屈な技術論文と著しく違い、数学を省略している。過去60年間にわたるAI技術の流れと伝統、また、動物行動学や進化心理学の知見も交えて興味深い議論を展開している。なお、訳者の神林先生は、慶応義塾大学を卒業後、米国のワシントン大学で修士号、トレド大学で博士号を取得し、2021年現在、日本工業大学先進工学部の教員でもある。

呉本 堯 (情報メディア工学科)

210.04

Ta 63

配架場所：3階

皆さんは、なぜ平城京から平安京に遷都されたかご存知でしょうか？“あるもの”が無くなったからだと思います。“あるもの”は、有限で人間が生活するために必要なものだそうです。それが無くなったので、遷都したらしいです。私は、この本を拝読して、現代も一緒じゃん!と、漠然とした気づきがありました。因みに、“あるもの”は、関ヶ原の合戦にも影響を及ぼし、その情景が歌川広重の東海道五十三次の箱根湖水図にも表現されていると聞いてびっくりした次第です。申し上げた通り、色々な気づきがある本書は一読の価値ありだと思います!

大宮 望 (データサイエンス学科)

081

Ks 63

2556

配架場所  
2階文庫新書

今年、大正12(1923)年に発生した関東大震災から100年になります。この災害は、近代日本の首都圏に大きな被害をもたらしました。しかし、災害の記録は様々なメディアで遺され、後世に伝えられたことで後の災害対策に大きく寄与しました。本書は、オランダ人という日本人とは異なる視点で見た江戸の災害を克明に記しています。江戸時代の人々は、災害からどう生き延び、復興に励んだのか。そして、オランダ人は、当時の日本社会や日本人をどのように理解したのか。新しい視点で日本の災害を考えてみてはいかがでしょうか。

野口 憲治 (建築学科)

007.13

L 51

配架場所：3階

本書はAIの未来を、10個のテーマに沿って描く短編小説と解説部分から構成されています。短編小説部分は、20年後に実現すると著者が予想するAI技術について、それが組み込まれた日常がSF要素も踏まえながらありありと描き出されます。自動運転が普及したら? AIに仕事を奪われたら? など現実に起こりえそうなテーマで、自分だったらどうするかと想像しながら読むのも面白いです。各小説のあとに続くAI研究者による技術解説は丁寧で、初学者でも読みやすいものとなっています。全555ページという本書の“見てくれ”に躊躇せず、まずは興味のある部分だけでも読んでみませんか。

齋藤 早紀子 (共通教育学群)

## ライブラリーカフェを開催しました。

2023年7月7日（金） マルチメディア教室（小ホール）

第17回ライブラリーカフェは、電気電子通信工学科の進藤卓也先生をお招きして、「(鳥, 魚, アリなどの)群れが生み出す知能」についてお話頂きました。大学時代のエピソードを在学当時の写真を交え話していただいた後、本題である「群知能」や現在の研究内容についての講演をいただきました。

参加者からは、大学時代の思い出や研究テーマを選んだ理由などについての質問があり、大いに盛り上がりました。



## 「選書ツアー」を開催しました。

2023年8月22日（火） 三省堂書店神保町本店

書店で本の内容を見ながら、「LCセンターに置きたい本」を選ぶイベントが、選書ツアーです。今回はライブラリーサポーターと教職員の計7名が参加し、三省堂書店神保町本店（仮店舗）にて、選書をしました。予定の時間を1時間ほどオーバーしましたが、参加者は熱心に本を選んでいました。今回、選んだ75冊は、10月の特集展示で貸出します。学生目線で選んだ本です。ぜひ、LCセンターまで足をお運びください。



## ライブラリーサポーターを募集しています。

LCセンターをより魅力的な場所にするため、「学生目線」でお手伝いしてくださる方を募集します。本が好き、図書館が好き、大学生活を充実させたい方など、たくさんのご応募お待ちしております。

**応募資格:** 本学に在籍する学部生・院生（学科・学年不問） 無償ボランティアでの活動となります。

**活動期間:** 年度単位。月1回程度のミーティング。  
イベントや作業中はその都度集まります。

**活動内容:** ライブラリーカフェ等イベントの企画、及び運営  
LCセンターの活動への提言、選書ツアーへの参加

**応募方法:** LCセンターにて配布の応募用紙を2Fカウンターに提出。



ミーティング中



ライブラリーサポーターのX (Twitter) です。  
フォローお待ちしております。  
(QRコードからアクセスしてください)



## 『青塔』秋号を発行しました。

秋号は、趣味や研究テーマを中心に、主に新任の先生方にご寄稿いただきました。

LCセンター内で配布しています。  
ご自由にお持ちください。  
リポジトリでも公開中です。

## 特集展示

場所：LCセンター2階 特集展示架

9/26（火）～10/20（金）「ごみ—知らないごみの世界—」  
新入生・在校生に大学生活で役立つ図書を展示します。

10/26（木）～11/25（土）「先生と先輩のすすめる本」  
選書ツアーと250文字ブックレビューの図書を展示します。

## 開館カレンダー（変更になる場合があります。）

10月 October						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月 November						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月 December						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2024 1月 January						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			